

6月10日
登山者のマナー向上を願って
パークボランティアが藻琴山登山道整備



登山道を整備するボランティアの皆さん

川湯エコミュージアムセンターを拠点として自然保護活動などを行っている、摩周・屈斜路パークボランティアの皆さんが6月10日、藻琴山登山道の整備を行いました。山頂下の広場は土砂崩れの起きやすいところがあり、屏風岩周辺は貴重な高山植物が生育していることなどから、むやみに足を踏み入れないよう登山者に注意を促すために行ったものです。

雨や風が強まり、視界が悪くなる中、ボランティアの皆さんは「マナーを守って楽しく登ってほしい」と願いながら、ゆるんだ杭を打ち直したり、運び上げたロープを張る作業を行いました。

6月9日
役場前の花壇をきれいに
フラワーマスター協会の皆さんが植栽行う



丁寧に植栽を行う委員の皆さん

摩周フラワーマスター協会(渡辺昇会長)の皆さんが6月9日、役場庁舎前と役場駐車場入り口の花壇に植栽を行いました。

皆さんに花を楽しんでほしいと毎年行っているもので、今年で18回目。13人が参加し、サルビアやマリーゴールド、ペチュニアなど約500株を、2つの花壇に手際よく植えました。訪れる皆さんの目を引いています。

5月25日～28日
広々とした牧場で草をはむ
900草原に牛が入牧

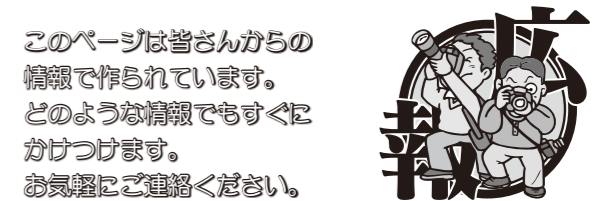


900草原で秋まで過ごす若牛

5月25日から28日の日程で、酪農家で育てられた若牛が家畜車で運ばれ、広大な町営牧場900草原へ放されました。

今年は、1,463頭もの牛が集まりました。これから栄養豊かな牧草を食べて、広々とした牧場内を走り回り、たくましく成長して、秋には畜主のもとへ戻ります。

カメラスケッチ
広報マンが行く!!



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。

企画財政課企画係 ☎482-2913 (課直通)

6月20日
観光客をきれいな花で迎えたい
摩周駅前広場の花壇を整備



小雨の降る中、協力して植栽

摩周駅前広場花壇整備事業実行委員会(委員長・木暮敏男摩周湖観光協会)の皆さんが6月20日、JR摩周駅前広場の花壇整備を行いました。

同実行委員会は、摩周湖観光協会や弟子屈町商工会、弟子屈建設業協会など、13団体で構成する団体です。平成12年度から、本町を訪れる観光客のおもてなしと、美しい景観づくりの一環として花壇整備を行っています。今回は32人が参加し、サルビアやマリーゴールド、ペチュニア900株を植えたほか、花壇や植樹帯の草取りを行いました。今後も交代で草取りや水やりを行っています。

6月12日
緑多いまちづくりに役立ててください
弟子屈高校ボランティア部が緑の募金



募金を手渡す部員の皆さん

緑化推進の一環として行われた緑の募金運動で、町内の皆さんからご協力いただいた募金が、弟子屈町緑化推進委員会(会長・徳永町長)に寄付されました。

緑の募金運動は5月11日から6月29日にかけて行われ、自治会や企業、学校、個人の皆さんなどから募金をいただきました。6月12日には、弟子屈高校のボランティア部「摩周SVC」の皆さんが役場を訪れ、生徒の皆さんから協力していただいた募金を徳永町長に手渡しました。募金は、町内の緑化推進に役立てられます。

6月7日
新たな町の特産品に
ワイン用のブドウを本格栽培



順調な生育を願って丁寧に植えこみ

町では6月7日、摩周3丁目の町民農園に、ワイン醸造用ブドウの苗木200本を植えました。町では、観光振興と地産地消の推進を目指して、2009年からワイン用ブドウの試験栽培を開始。

ワインの産地として知られる十勝管内池田町の指導を仰ぎながら、生育状況や適応性を調べてきましたが、耐寒性に優れた「山幸」という品種を取り入れ、本格栽培することにしました。町民農園のほか、美留和・屈斜路・川湯の3地区でも180本を植え、ワイン1樽(500リットル)分の収穫を目指します。

6月1日
育てるのが楽しみ
果樹の苗木を無料配布



苗木を求めて長蛇の列が

苗木の無料配布会が6月1日、役場前と川湯支所前で行われました。町内の緑化推進のために毎年行われています。配布されたのはハスカップという果樹の苗木で、両会場で140本が用意されました。寒さに強く丈夫で、実も楽しめるそうです。

会場では緑の募金も行われ、集まった方々が募金に協力していました。

6月24日
エコミュージアムセンターの自然ふれあい行事
イソツツジのお花畑を堪能



細川さんの説明を聞き参加者の皆さん

川湯エコミュージアムセンター主催の自然ふれあい行事「イソツツジのお花畑を歩こう」が6月24日、川湯温泉街～硫黄山麓に広がるつつじヶ原自然探勝路で行われました。

講師は、長年、摩周や阿寒の植物を研究するとともに、地元の郷土史にも詳しい細川音治さん。参加者の皆さんは細川さんの説明を聞き、質問をしながら、約2.7キロを3時間ほどかけてゆっくり見て歩きました。町内から参加した男性は「近くでもなかなか歩く機会がなかった。いかに特殊で貴重な環境かが分かってとてもよかった」と話していました。

6月23日
日本の伝統文化に触れる
摩周おこと子ども教室が開講



楽しみながら箏の演奏を学ぶ

町の青少年健全育成事業「摩周おこと子ども教室」が、6月23日に開講しました。

箏(そう)の演奏を通して伝統文化に親しみ、礼儀作法を身につけてほしいと、生田流琴友会(辻谷武喜代会主)との共催で開催したものです。小学生13人が参加し、同会の皆さんの指導のもと、箏の練習を行いました。

子どもたちは、10月まで全10回の練習を行い、閉講式での演奏会で成果を披露することになっています。

6月9日
日ごろの文化活動の成果を披露
チャリティ春のまつりにたくさんの観客



各団体の発表に見入る観客の皆さん

弟子屈町文化協会(木村光博会長)主催の第17回チャリティ春のまつりが6月9日、福祉センターで行われました。

同協会や各団体の活動成果の発表と、バザー収益の寄付を目的に毎年開催されています。芸能発表会には、バトントワラー弟子屈教室や生田流琴友会など10団体約100人が参加し、訪れた観客が盛んに拍手を送っていました。

6月8日
ごみの分別を再確認
二町内自治会が説明会を開催



説明に聞き入る参加者の皆さん

二町内自治会(鈴木幸栄会長)の皆さんが6月8日、東部こども館でごみ分別説明会を開催しました。

「自分たちでできることは自分たちの手で」を合言葉にしている同自治会ですが、最近、ごみの分別を怠ったり、何でも燃えるごみとして出していることが見受けられることから、分別についてあらためて確認しようと開催したものです。役場町民課衛生係の職員を講師に、ごみの分け方・出し方などの説明を受けました。参加者からは「大変勉強になった」との声が聞かれ、今後のごみの分別に自信を持ったようです。